



国立病院機構 千葉医療センター  
**第170回 市民健康セミナー**

テーマ

# 結核と非結核性抗酸菌症

講師 呼吸器内科 西村 大樹

日時:平成29年9月28日(木) 午後2時～4時

場所:国立病院機構 千葉医療センター 地域医療研修センター

定員:先着100名 入場無料

結核と聞いて何を思い浮かべますか？

人にうつる病気、昔は不治の病だった、ツベルクリン注射とBCGの予防接種、などなど。いずれにしても過去の病気と考える人が多いのではないのでしょうか。

確かに患者数は減り、ほとんどの人は治る病気になりました。しかし日本では、今も年間約1万8千人の新規患者と2千人ほどの死亡者が出ており、さらに世界では1千万人余りの人が結核となり、180万人が亡くなっています。(世界十大死因の一つ)。

また最近では、薬の効かない耐性菌の問題もあり、結核は決して過去の病気ではありません。

今回はこの結核と、昨今増えている結核菌の仲間の抗酸菌による感染症(非結核性抗酸菌症)についてお話しします。



\*\*\*\*\* 10月のご案内 \*\*\*\*\*

(第171回) 平成29年10月26日(第4木曜日) 午後2時～4時

「中心部の見えにくさ～手術が必要な黄斑疾患について」

講師:眼科 大岡 恵美

【国立病院機構千葉医療センターよりお知らせ】  
 市民健康セミナーに10回参加された方に記念品を差し上げます。  
 お問合せは 国立病院機構千葉医療センター管理課(043-251-5311)まで  
 千葉医療センターホームページ<http://www.hosp.go.jp/chiba/>でもご案内しています。

\*\*\*\*\*

後援 千葉市